

天竜川に佐久間ダムができて60周年、遠州灘海岸の篠原海岸侵食対策を始め、10周年を記念し、平成28年11月1日(火)可美公園総合センターにおいて天竜川・遠州灘海岸シンポジウムを開催しました。

シンポジウムには約350名が参加。開会にあたり、天竜川沿川市町を代表して浜松市の鈴木市長、遠州灘沿岸市町を代表して掛川市の松井市長が挨拶に立ちました。



浜松市長



掛川市長

開催挨拶

第1部は青木教授(大阪大学 大学院)の講演「遠州灘の海岸保全について」で、遠州灘海岸の侵食の要因と経緯、保全のために目指すべき方向が示されました。



満員の会場



青木教授の講演



パネル展示コーナーを併設

第2部はパネルディスカッション「天竜川と遠州灘海岸の課題と解決への道」を行い、それぞれの分野から現状の取り組みや今後の目標が紹介され、認識を共有しました。



パネルディスカッション

| | | |
|----------|---------------|-----------------|
| パネリスト | 青木 教授 | 大阪大学 大学院 |
| | 長谷川 代表 | 海岸侵食災害を考える会 |
| | 長縄 局長 | 静岡県 交通基盤部 河川砂防局 |
| | 横山 部長 | 浜松市 土木部 |
| | 尾藤 所長 | 国土交通省 浜松河川国道事務所 |
| コーディネーター | 澤木 シニアプロデューサー | 静岡新聞社・静岡放送 |